

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

このたび、当院では、患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を実施することになりましたので、お知らせいたします。この研究は、過去の診療情報のみを使用するため、患者さんに新たにご協力をお願いすることはなく、費用負担や心身へのご負担も一切ありません。

ご自身の情報がこの研究に利用されることを希望されない場合は、お手数ですが下記の連絡先までお申し出ください。

2025 年 9 月 17 日

施設名:宮城厚生協会 坂総合病院

代表者氏名:病院長 富山 陽介

【研究課題名】

産後健診におけるエジンバラ産後うつ評価票を用いたリスク要因の分析と多職種連携による介入方法の後方視的検討

【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2026 年 3 月 31 日

【研究の目的と意義】

出産後、気分の落ち込みや不安を感じるお母さんは少なくありません。これは「産後うつ」とも呼ばれ、お母さん自身だけでなく、赤ちゃんの成長にも影響を与えることがある重要な問題です。しかし、多くのお母さんは、つらさを感じていても一人で抱え込んでしまう傾向があります。そこで本研究では、当院の産後健診でご回答いただいた「心の健康に関するアンケート(エジンバラ産後うつ病評価票:EPDS)」の結果と診療記録(カルテ)を分析し、どのような方が産後の心の不調を抱えやすいのか、その特徴を明らかにすることを目的としています。また、当院で行っている医師や助産師などによるサポート体制が、お母さんの心の健康にどのように役立っているかを検証することも目的の一つです。この研究の成果は、産後の心の不調に悩むお母さんをより早期に発見し、適切なサポートを提供するための体制づくりに役立てられ、今後の周産期医療の質の向上に貢献することが期待されます。

【研究の方法】

この研究は、過去の診療記録を振り返って分析する「後ろ向き研究」という手法で行います。患者さんに新たにご足労いただいたり、検査やアンケートをお願いしたりすることは一切ありません。

【研究の対象となる方】

2021 年 4 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの期間に当院でお子さんを出産された方のうち、産後 2 週間健診および産後 1 か月健診の両方を受診され、その際に「心の健康に関するアンケート(EPDS)」にご回答いただいた方を対象とさせていただきます。

【研究に用いる情報】

本研究では、診療録(カルテや助産師の記録を含む)から、以下の情報を利用させていただきます。

- ・ 心の健康に関するアンケート(EPDS)の結果
- ・ 患者さんの背景に関する情報:
- ・ 年齢、過去の精神的な不調の経験の有無、里帰り出産の有無、初回出産かどうか、母乳育児の状況など
- ・ 妊娠・出産に関する情報:
- ・ 切迫流産・早産、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病の有無、分娩方法(誘発分娩、吸引分娩、緊急帝王切開など)

【個人情報の保護について】

この研究で用いる情報は、お名前、住所など個人が特定できる情報をすべて削除し、代わりに研究用の番号を付けて管理します(これを「連結可能匿名化」といいます)。個人情報と研究用の番号を結びつける対応表は、研究責任者がパスワードを設定した上で厳重に管理し、研究に直接関わらない人が目にすることはありません。

また、研究の成果を学会や医学雑誌などで発表する際には、個人が特定できないように統計的な情報として処理しますので、プライバシーは厳重に保護されます。

【研究への情報利用を希望されない場合(オプトアウト)の手続き】

この研究にご自身の情報の利用を希望されない方は、下記の連絡先までお申し出ください。ご連絡をいただいた場合、あなたの情報を研究データから直ちに削除いたします。

研究への協力を希望されない場合でも、今後の診療等であなたが不利益を受けることは一切ありません。(ご本人が研究利用に関する意思表示ができない場合はご家族の方からの問い合わせも受け付けますので、その際は別途ご相談させていただきます。)

【お問い合わせ先】

本研究に関するご質問や、ご自身の情報が利用されているかどうかの確認、研究計画書の内容をお知りになりたい場合などは、ご遠慮なく以下の連絡先までお問い合わせください。

- ・ 研究機関
公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院
病院長 富山 陽介
- ・ 本研究の研究責任者・お問い合わせ窓口
所属・職氏名:坂総合病院 産婦人科 医師 佐藤 孝洋
連絡先(電話):022-365-5175(代表)

※ お電話の際は、「産後うつに関する研究の件」とお伝えいただくとスムーズです。

※ 平日 9:00~16:30、土曜 9:00~12:30 の診療時間内での問い合わせにご協力願います。